

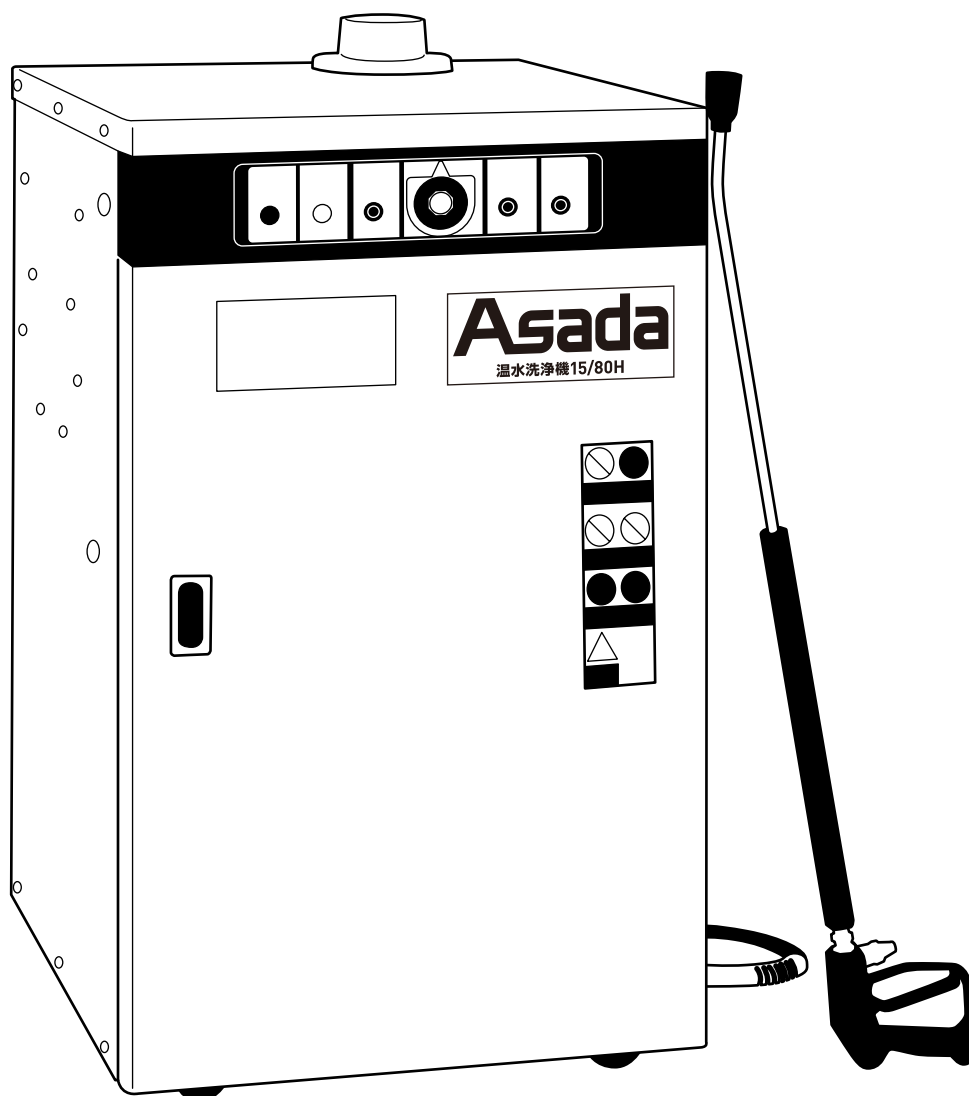
Asada

環境を守る親切ツール

温水洗浄機

15/80H・15/100H

取扱説明書



〔ご使用前には必ず本書をお読みください。〕

温水洗浄機 15/80H・15/100H

安全にご使用いただくために

このたびは、温水洗浄機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取り扱いで本機の性能を充分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を使用用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
 - ・ご注文の商品の仕様と違いはないか。
 - ・輸送中の事故等で破損、変形していないか。
 - ・付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

(本書記載内容は改良のため、予告なしに変更することがあります)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、3つのレベルに分類されます。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



本機に接触または接近する使用者、第三者等がその取り扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、軽症または中程度の障害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

記号



爆発



ガス注意



高圧水



火災



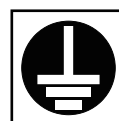
火気厳禁



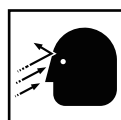
感電



やけど



アース



保護具
着用



分解禁止



その他



取扱
説明書

目次

安全にご使用いただくために	2
警告表示の分類	2
記号	2
目次	3
一般的注意事項	4
警告ラベルの貼付位置および内容	7
1. 製品構成	8
1-1) 各部の名称	8
1-2) 仕様	9
1-3) 標準付属品	10
1-4) 別販売品	11
1-5) 作動原理	12
1-6) 配管系統図	13
1-7) 配線図	14
1-8) 安全装置	15
2. 使用方法	15
2-1) 洗浄作業前の準備	15
2-1-1) 使用環境	15
2-1-2) 設置	16
2-1-3) 付属品の取付け	16
2-1-4) 電源への接続	18
2-1-5) ホース類の接続	18
2-1-6) 燃料の補給	19
2-2) 運転	20
2-2-1) 機械の運転準備	20
2-2-2) 冷水運転	20
2-2-3) 温水運転	21
2-2-4) 機械の停止	21
2-2-5) 凍結防止対策	21
3. 保守・点検	22
3-1) ポンプ	22
3-2) ストレーナ	23
3-3) 定期点検	23
4. 修理・サービスを依頼される前に	24

一般的注意事項

ここでは、本機を使用するにあたり注意していただきたい一般的な注意事項を示します。
作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危険



◆火災・爆発を防止するため作業場所に注意してください。

☆可燃性の液体（ガソリン、シンナーなど）やガスのある場所で使用しないでください。スイッチは開閉時や使用中火花を発生することがあります。



☆排気口の上に物を置いたり塞いだりすると、火災、故障の原因となります。

◆酸素欠乏症や排気ガス中毒を防止するため、換気の良い場所に設置してください。

☆換気の悪い場所で使用しますと、酸欠で窒息する恐れがあります。



☆絶対に排気ガスを吸わないようにしてください。

◆燃料の補給中の火気、たばこは厳禁。

☆燃料を補給しているときは、電源スイッチを切ったうえで行ってください。

⚠ 警告



◆改造は絶対に行わないでください。

☆異常な動作の原因となり、ケガや故障の原因となります。

◆ガンを絶対に人や動物、電気器具類に向けしないでください。

☆誤って噴射すると大変危険です。

☆本機や他の電気器具、電源などに噴射すると、ショートしたり感電する恐れがあります。



☆ガンのトリガーを引いたままの状態に固定しないでください。不意に、スイッチが入ると同時に高圧水が噴射します。



◆火傷を防止するために、排気口に指や手を入れないでください。

☆排気口からは高温の排気ガスがでています。

◆温水作業中や完了直後は金属部分に触れないようにしてください。

☆作業中や完了直後は、ガン、高圧ホース、高圧ホース接続金具などが高温になっています。絶対に素手で触れないでください。



◆濡れた手で電源操作しないでください。

☆濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、電源スイッチを操作すると感電する危険があります。



◆素足のままで洗浄作業をしないで下さい。

☆濡れた床で作業する場合には、ゴム靴などを履いて濡れないようにするとともに感電には十分注意してください。感電する危険があります。

☆必ずアース（接地）を行ってください。

警告



◆電源プラグは、常に点検して異常がないことを確認したうえでガタツキがないようにしっかりコンセントに差し込んでください。

☆電源プラグに、ほこり、油脂分が付着していたり、接続が不完全な状態では感電や火災の原因となります。



◆電源コードは他の電気器具と併用したり、タコ足配線をしないでください。火災の原因となります。

◆電源コードを引っ張ったり、電源コードでプラグの抜き差しを行わないでください。感電や火災、ケガの原因となります。

◆電源は必ず所定の種類、容量をご使用ください。発熱、発煙、発火の原因となります。



☆機銘板、本取扱説明書に記載の仕様を参照してください。

◆延長用コードは、基本的に使用しないでください。

☆不適切な延長コード（細い線径や長すぎるコード）は、始動不良になるばかりでなく、発火、火災の原因となります。

☆延長する場合には、必ず販売店もしくは弊社にお問い合わせしていただき、安全を確認してから使用してください。



◆ガソリンやシンナー、可燃性ガスが漏れる恐れのある場所への設置はしないでください。

☆万一可燃性ガスが漏れて、本機の周囲に溜まると爆発、火災の原因となります。

◆本機から離れるときや、停電、保守、点検のときにはスイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。本機が急に動き事故の原因となります。

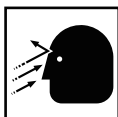


◆本機は、該当する安全規格に適合していますので、改造は行わないでください。

◆目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。

☆作業中は、ゴーグルなど保護メガネを着用してください。噴射水が砂や泥などと一緒には跳ね返ってることがあります。

◆その他の事項を防止するため、以下に注意してください。



☆カバーなどを外した状態で使用しないでください。水などがかかると電装部が短絡し、発煙、発火、焼損する恐れがあります。

☆作業場所は常に整理整頓に心掛けてください。

☆関係者以外は、作業場所に近づけないでください。特にお子様には十分注意し、絶対に触れないでください。

☆不安定な場所や無理な姿勢での作業はしないでください。足場を固め、身体の安定を保ってください。



☆使用后、部品の交換・掃除・点検時は、必ずスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。

温水洗浄機 15/80H・15/100H

警告

- ◆薬品による部品の変質劣化を防止するため、以下に注意してください。
- ☆薬剤（薬品）を混合して使用する場合は、ガソリン・シンナーなどの有機溶剤や強酸性溶剤・強アルカリ性溶剤のほか劇物・毒物などは絶対に使用しないでください。また、特殊な薬剤（薬品）などを使用する場合には、必ず販売店もしくは弊社にお問い合わせいただき、安全を確認してから使用してください。
- ◆本機を担当者以外に操作させないように管理してください。
- ◆結果の予測ができない、また確信のもてない取扱いはしないでください。
- ◆本機を使用目的以外の用途には使用しないでください。
- ◆本機に負担のかかる無理な使用はしないでください。
- ☆過負荷保護装置が働くような無理な作業は、機械の損傷を招くばかりでなく、事故の原因にもなります。
- ◆疲労、飲酒、薬物などの影響で作業に集中できないときは操作しないでください。
- ◆本書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別販売品以外は使用しないでください。事故の原因となります。
- ◆本機を落としたりぶつけた場合は、破損、亀裂、変形などがいないか点検してください。
- ☆破損、亀裂、変形などがある状態で作業を行うと、けがや事故の原因となります。

注意



- ◆本機の異常（異臭、振動、異常音など）に気づいたときは、ただちに運転を停止し、本書の『P.24 4. 修理・サービスを依頼される前に』を参照してください。また、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。

☆修理はお買い上げの販売店または弊社支店、営業所へお申しつけください。

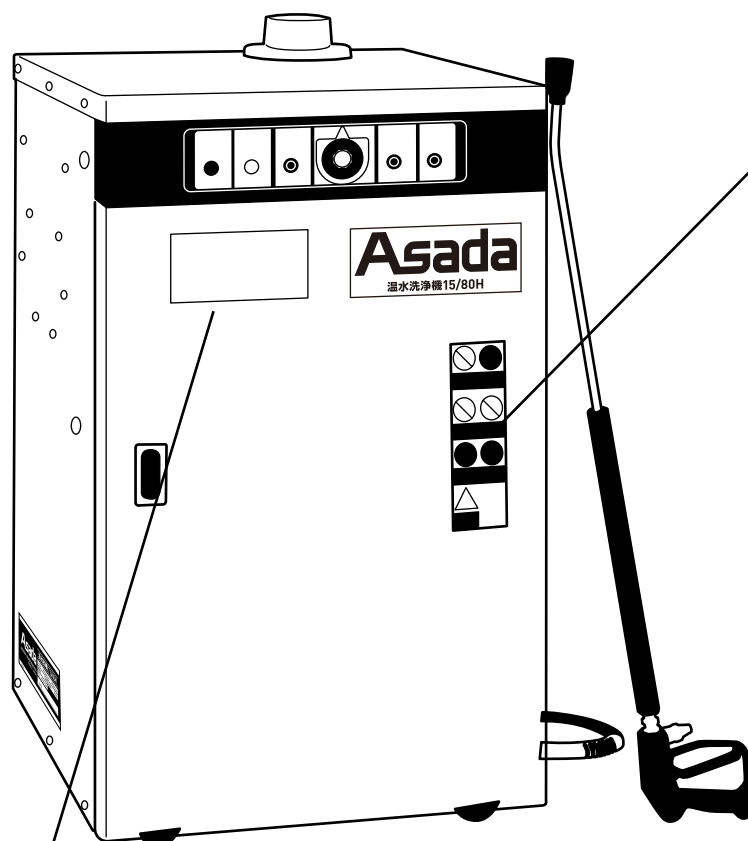


- ◆本書の『P.22 3. 保守・点検』に従い、各部の保守、点検を行ってください。
- ◆高圧ポンプの凍結防止のため、作業後はポンプ内の水抜きを実施してください。

警告ラベルの貼付位置および内容

本機には、危険・警告ラベル、注意ラベルが貼付してあります。安全確保のための説明が書かれていますのできれいに保ち、はがれたり見づらくなった場合には弊社へ請求してください。そして、必ず同じ場所に貼付してください。（図1）

図1. ラベルの貼付位置



注意ラベル

ポンプ始動時の注意

- ① 毎回始動時にはノズルレバーを引き約10秒内に水の出るのを確認して下さい。
- ② 約10秒内に水が出ない時はポンプを停止して下さい。
- ③ 水の出ない時は下記項目の点検をして下さい。
 - 1) 水道元コックが開いているか。
 - 2) シスタンクに水満タンになっているか。
 - 3) ポンプに異常はないか(ポンプ取説通り点検)

危険・警告ラベル

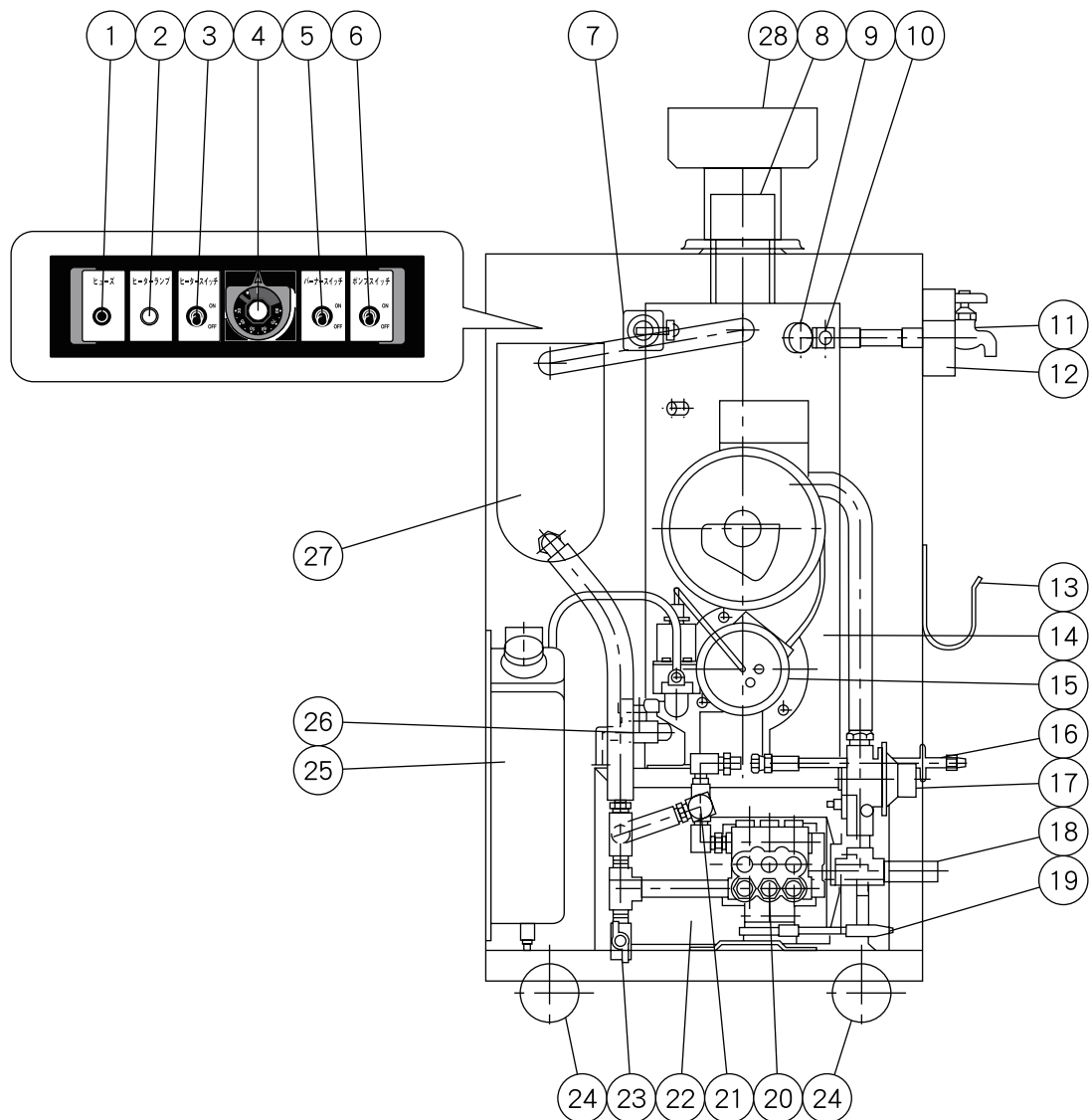
⚠ 危険	
シンナー ガソリン ガソリン・シンナーは絶対禁止。(指定燃料使用) 火災発生の恐れあり	必ずアース線を接続すること。 感電の危険性あり
⚠ 警告	
洗浄ガンに人に向けないこと。 スプレーは高圧ですので皮膚に当たると傷害の可能性あり。	素足のままで洗浄作業をしないこと。 漏電時に感電の危険性あり。
説明書をよく読み、理解してから使用すること。 重要警告事項の説明あり。 警告事項に従わないと重大事故の危険性あり。	洗浄ガンは反動があるので確実に握ること。 ガンが飛ばされて傷害の起きる可能性あり。
排気筒の周辺は高温になります。 火傷の恐れあり。	ここに示す警告事項は温水洗浄機の取扱い方法を誤った場合に、使用者が死亡または重傷および火災等の被害を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは大切にしてください。万一はがれたり、汚損された場合はお買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。

温水洗浄機 15/80H・15/100H

1. 製品構成

1-1) 各部の名称 (図2)

図2. 各部の名称



* 別販売品

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
1	ヒューズ	1 1	* 給湯用カラン	2 1	アンローダバルブ
2	ヒータランプ	1 2	ガン掛け	2 2	電動機
3	ヒータスイッチ	1 3	ホース掛け	2 3	ポンプ水抜きバルブ
4	温度調節器	1 4	缶体	2 4	自在車輪
5	バーナスイッチ	1 5	バーナ	2 5	燃料タンク
6	ポンプスイッチ	1 6	吐出口	2 6	缶体水抜きバルブ
7	安全弁	1 7	減圧逆止弁	2 7	水タンク
8	排気筒	1 8	給水口	2 8	* 煙突防水カバー
9	圧カスイッチ	1 9	低温ヒーター		
1 0	加熱防止装置	2 0	ポンプ		

HIGH PRESSURE CLEANER 15/80H・15/100H

1-2) 仕様

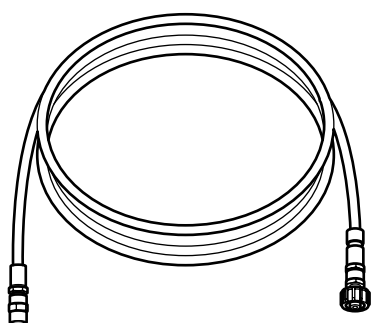
製 品 名	温水洗浄機15/80H		温水洗浄機15/100H	
周波数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
コードNo.	HD1508HE	HD1508H	HD1510HE	HD1510H
圧力	7.8MPa		10MPa	
水量	15L/min		15L/min	
ポンプ	3連セラミックプランジヤポンプ			
電源	三相200V			
モータ	2.2kW		3.7kW	
温水温度	～80℃			
燃料	白灯油(JIS 1号 灯油)			
タンク容量	35L			
燃料消費量	4.0～4.9L/h			
燃料ポンプ	電磁ポンプ			
缶体	ステンレス製(蓄圧式)			
温度調節器	30℃～80℃液体膨張式サーモスタット			
給水方式	水道直結式			
給水口	3/4×Φ20竹の子			
必要給水量	約20L/min以上			
必要電源	15A以上		20A以上	
大きさ(L×W×H)	555×698×1124mm			
質量	110kg		122kg	
安全装置	モータ過負荷保護装置、空焚防止装置、 炎監視装置、凍結防止ヒータ、減圧逆止弁、 安全弁、加熱防止装置			

温水洗浄機 15/80H・15/100H

1-3) 標準付属品 (図3)

コードNo.	部 品 名	15/80H	15/100H	個数
HD02003	扇形ガン	●	●	1
HD456	温水用高圧ホース 3/8 10m	●	●	1
—	排気筒(煙突)	●	●	1
—	部品ケース	●	●	1
—	ホース掛け	●	●	1
—	アース線	●	●	1
HD02007	取扱説明書	●	●	1

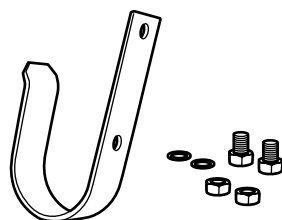
図3. 標準付属品



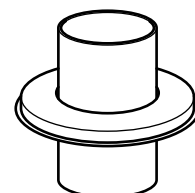
温水用高圧ホース



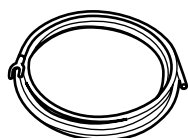
扇形ガン



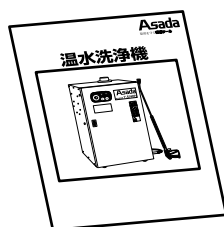
ホース掛け



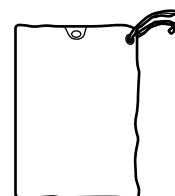
排気筒



アース線



取扱説明書



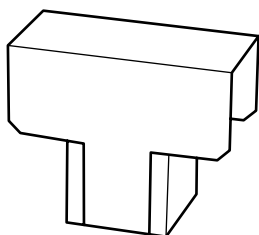
部品ケース

HIGH PRESSURE CLEANER 15/80H・15/100H

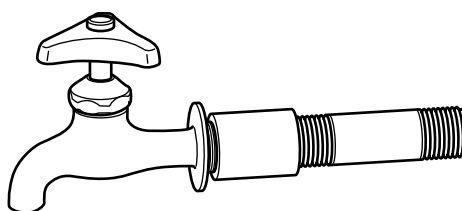
1-4) 別販売品 (図4)

コードNo.	部 品 名	個数
HD02014	煙突防水カバー	1
HD02015	給湯用カラン	1
HD457	延長用高圧ホース3/8 20m	1
HD458	延長用高圧ホース3/8 30m	1
HD460	延長用高圧ホース3/8 50m	1
HD230	別置用ホースリール40m	1
HD03293	別置用ホースリール60m	1

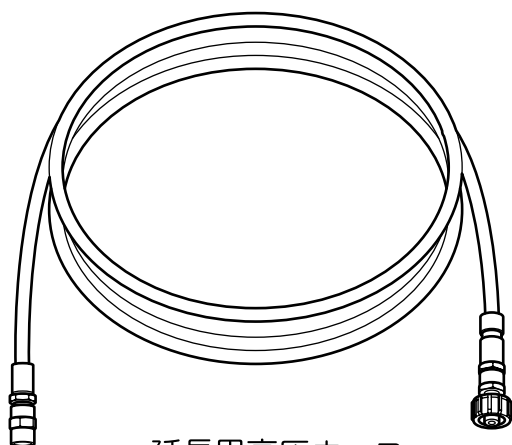
図4. 別販売品



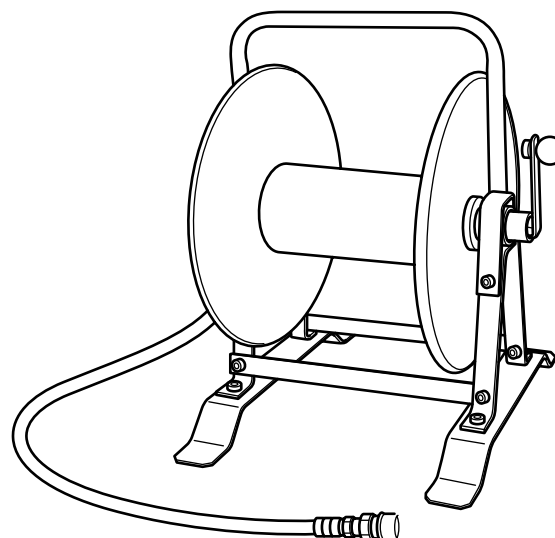
煙突防水カバー



給湯用カラン



延長用高圧ホース



別置用ホースリール

温水洗浄機 15/80H・15/100H

1-5) 作動原理

本機はモータを回転させ、ポンプを駆動し、白灯油を燃料とした貯湯式缶体（温水器）で加熱された温水を洗浄ガンの先端から噴射する洗浄機です。（図5）

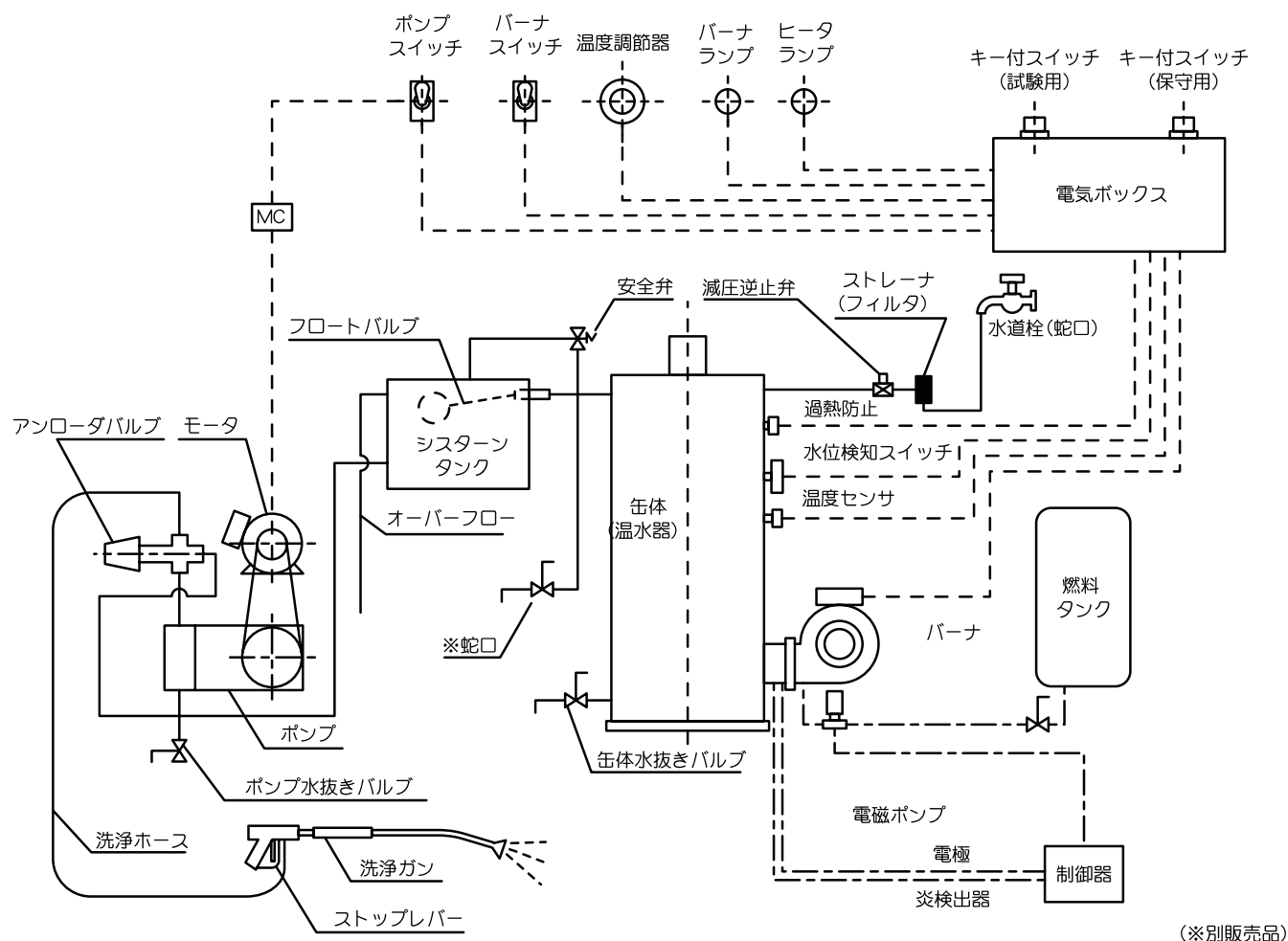
●ポンプの運転

ポンプスイッチを「ON」にすると、モータが回転し、ポンプを駆動します。ポンプの給水側にはシスターンタンクに接続されています。缶体で加熱された温水が、シスターンタンク、ポンプ、アンローダーバルブ、高圧ホースを経て、洗浄ガンの先端にあるノズルから、所定の圧力で噴射されます。洗浄ガンはストップ機構がついていいますので、ストップレバーを握ると噴射され、ストップレバーを開放すると噴射は止まります。

●缶体（温水器）の点火

水道栓から給水された缶体（温水器）、シスターンタンクの水は、フロートバルブの作用で一定水量に保たれます。バーナースイッチを「ON」にすると、燃料ポンプが動作して燃料タンクからバーナーに燃料が送られ、自動点火装置により、点火され缶体の水を加熱します。温度調節器の設定値に達しますと、自動的に消火します。

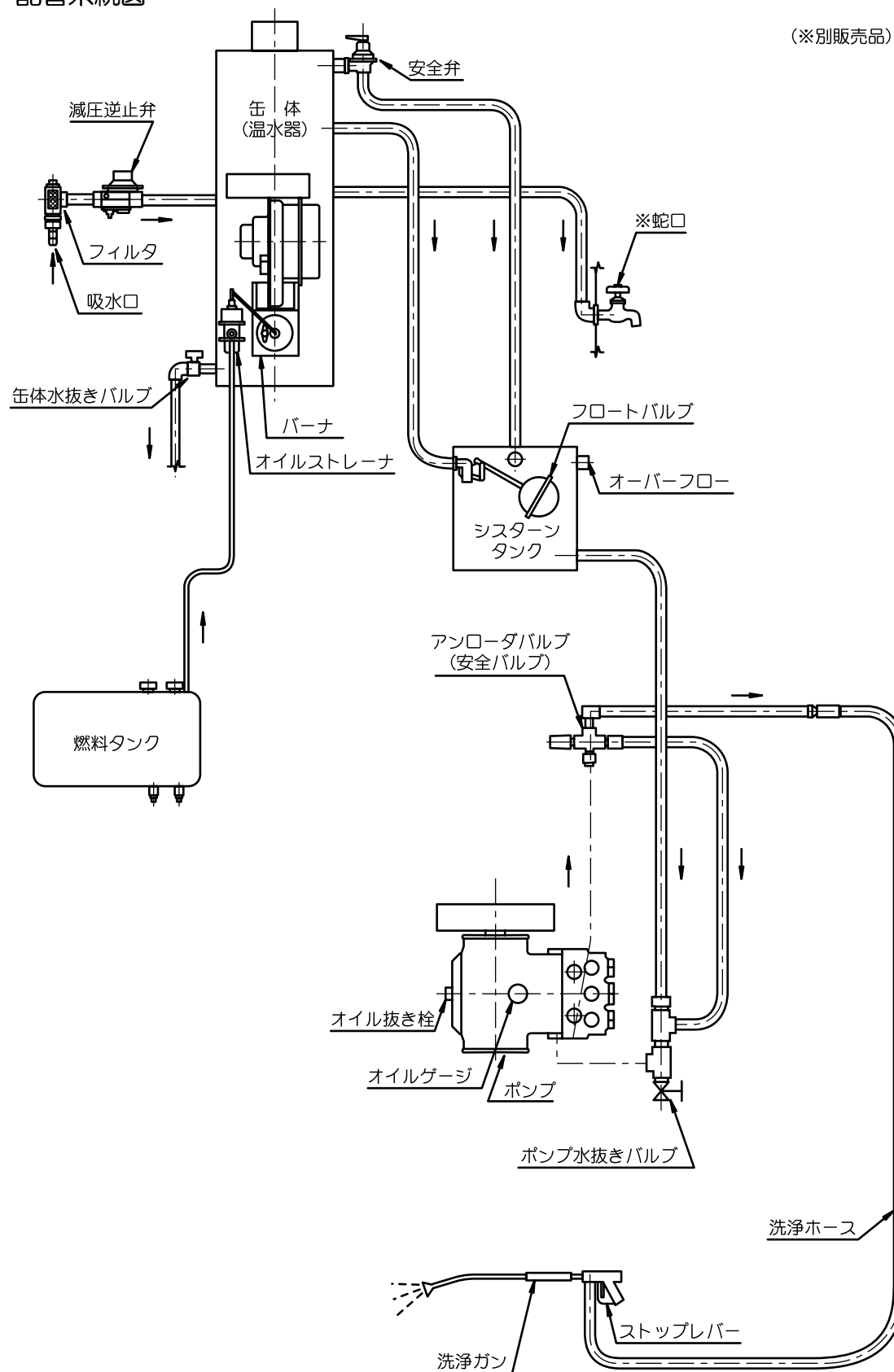
図5. 系統図



HIGH PRESSURE CLEANER 15/80H・15/100H

1-6) 配管系統図 (図6)

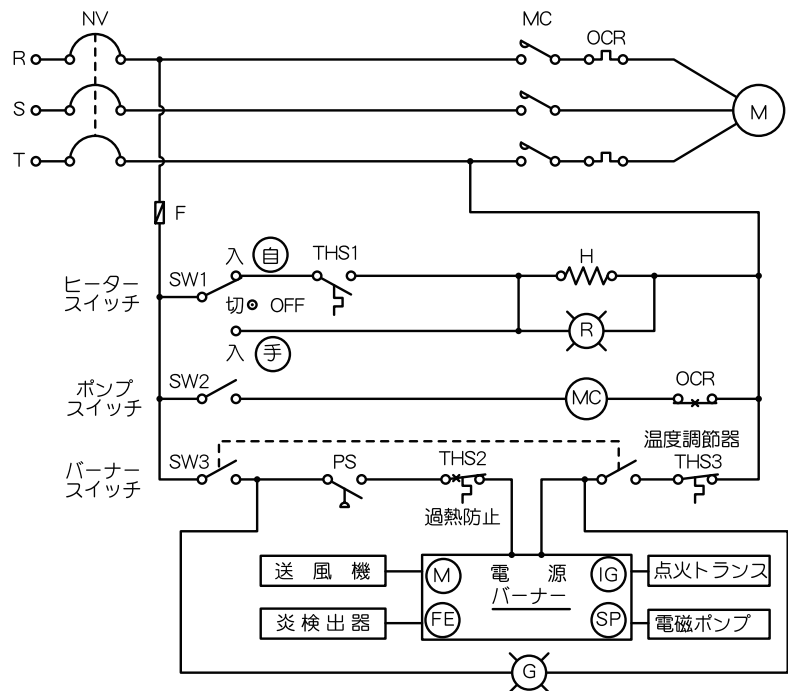
図6. 配管系統図



温水洗浄機 15/80H・15/100H

1-7) 配線図 (図7)

図7. 配線図



1-8) 安全装置

本機には、下記の安全装置が装備されています。

a) ヒューズ

過電流が流れた場合、電気回路を遮断し保護します。

15/80H、15/100H 3A

b) 過負荷保護装置（電磁開閉器）

モータが過負荷になり、過電流が規定時間以上流れると、サーマルリレーが作動し、モータの損傷を防止します。

c) 空焚防止装置（圧力スイッチ）

缶体内に水が規定値以上入っていない時は、バーナの点火を防ぎ、又点火中の時は消火して、空焚を防止し缶体を保護します。

d) 炎監視装置（火炎検出器）

燃焼が完全に開始されないときや、燃料切れ、失火、異常燃焼の場合に感知し、バーナを停止させます。

e) 安全バルブ（アンローダバルブ）

配管内の圧力が設定値以上に上昇するとアンローダバルブが作動して圧力を逃がし、ポンプ・モータを保護します。

f) 過熱防止装置（手動復帰）

空焚き・異常燃焼した場合、缶体の胴体温度を感知してバーナを停止させます。

2. 使用方法

2-1) 洗浄作業前の準備

2-1-1) 使用環境

■つぎの使用環境を十分考慮して、『設置』・『電源への接続』・『ホース類の接続』・『燃料の補給』を行ってください。

●直射日光が当たる場所、雨中、内部に水が入りやすい場所では使用しないでください。

●本機は排気ガスを出します。密閉された部屋で使用しないでください。また、屋内で使用する場合には吸排気口（吸排気ファン）を取り付けてください。

●給水設備が適切な容量であることを確認してください。

15/80H、15/100H 約20L/min以上

■ご使用前には、以下の項目に注意し作業を行ってください。

●使用する燃料は、『JIS1号灯油』を使用し、ガソリン、軽油、その他揮発性燃料は絶対に使用しないでください。

●ボイラーのドレンが閉じていることを確認してから給水を行ってください。

●各ホース類や接続部に異常がないことを確認してから運転するようにしてください。

温水洗浄機 15/80H・15/100H

2-1-2) 設置



注意



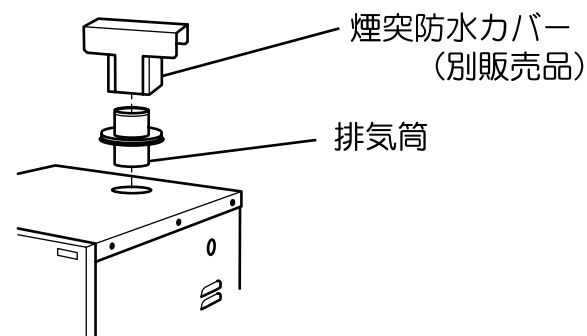
- ◆精密部品を使用していますので、運搬の際には十分注意して行ってください。
- ◆本機は重量物です。フォークリフトなどで運搬するようにし、人力での上げ下げや吊金具での吊り下げは行わないでください。
- ◆本体は転倒しないように設置すること。

- 設置する床が丈夫で水平であり、水はけの良い場所に設置ください。
- ブレーキ付車輪のブレーキ止めをかけ、機械が移動しないようにしてください。
- 設置場所には、保守点検が行いやすい場所を選び、本機の前部分には物を置かないようにしてください。
- ガソリンなどの可燃物が置かれているような建物や、有毒ガスが発生する場所等には設置しないようにして下さい。
- 本機に直接水（雨・雪を含む）がかからない場所を選定してください。やむを得ず屋外に設置する場合は、別販売品の煙突防水カバーを取り付けてください。
- 屋内に設置する場合は、屋内用の吸排気口などを設置してください。
- 本機は保守点検が容易に行える場所に設置してください。

2-1-3) 付属品の取付け

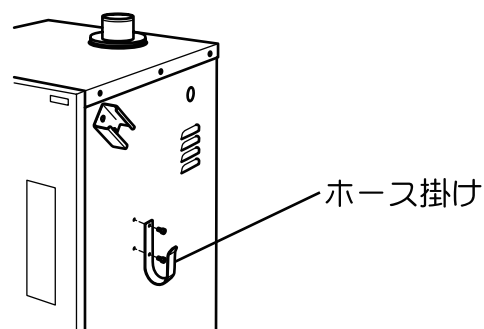
- (1) 図8に従って、「排気筒」をとりつけてください。屋外に設置する場合は煙突防水カバー（別販売品）を取付け、雨などの進入を防止してください。

図8. 排気筒・煙突防水カバーの取付け



- (2) 図9に従って「ホース掛け」を取り付けてください。取付けねじは本体についています。

図9. ガン掛け・ホース掛けの取付け



(3) 「給湯用カラン」 (別販売品) の取り付け方 (図10)

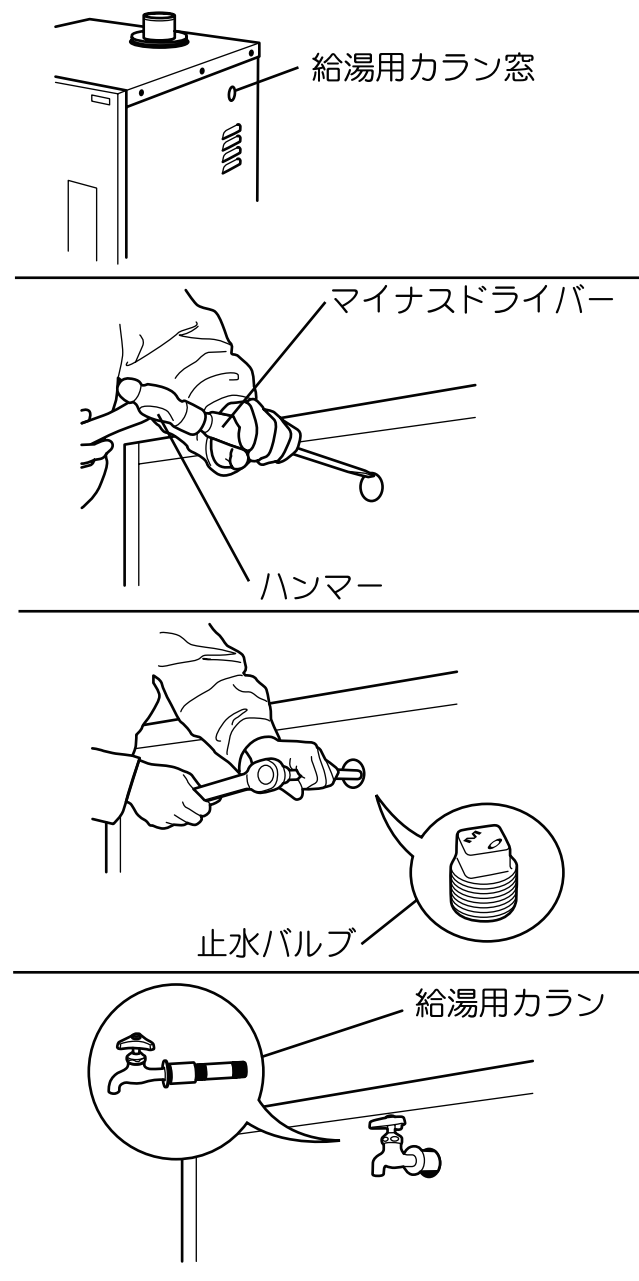
本体右側面にある給湯用カラン窓の位置をご確認ください。

ハンマーとマイナスドライバーなどで、給湯用カラン窓を打ち抜いてください。
(中に止水バルブが見えます)

ボックスレンチ等で止水バルブを緩めてください。

パイプレンチ等で給湯用カランを取付けます。

図10. 給湯用カラン (別販売品) の取付け



温水洗浄機 15/80H・15/100H

2-1-4) 電源への接続

注意



- ◆感電防止のため、必ず接地（アース）を行ってください。
- ◆接地工事（地中に接地極アース板、アース棒を埋め、接地線を接続するなどの工事）を行うためには、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。
- ◆感電防止用漏電遮断装置が設置されている場合でも、より安全のため接地（アース）してください。

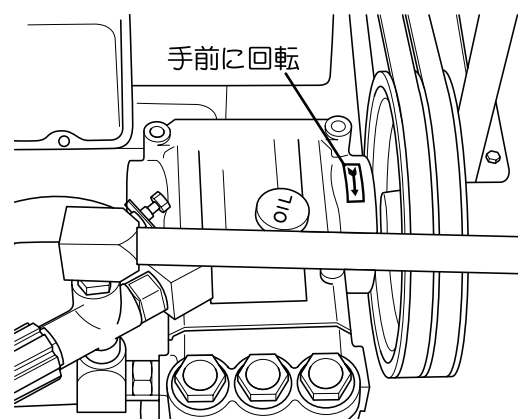
■電源に感電防止用遮断装置（労働安全衛生規則 第33条および電気設備の技術基準第28条、第41条に規定されている装置）が設置されていることを確認してください。

- ①本機の電圧と周波数が電源と合っているか確認してください。
- ②電源コードを電源に接続してください。
（電源コードのうち緑色のコードがアース線です）
- ③必要な電気容量を確保してください。

15/80H	三相200V、15A以上
15/100H	三相200V、20A以上

- ④三相電源では、3本のコードの接続によってモータの回転方向が変わります。
接続後、ポンプに表示された矢印方向に回転しているかを確認してください。
回転方が逆になった場合には3本のコードの接続位置を変えた後は回転方向を確認してください。（図11）
- ⑤付属のアース線を本体背面の取付部に取付、接地（アース）してください。

図11. ポンプの回転方向



2-1-5) ホース類の接続

注意



- ◆接続箇所は確実に接続してください。また、ホースバンドを使用する箇所は工具を使用し確実に接続してホース抜けがないようにしてください。
- ◆高圧ホースの接続に使用されているOリングが破損している場合は、接続部より高圧水が噴出しますので、必ず交換してください。

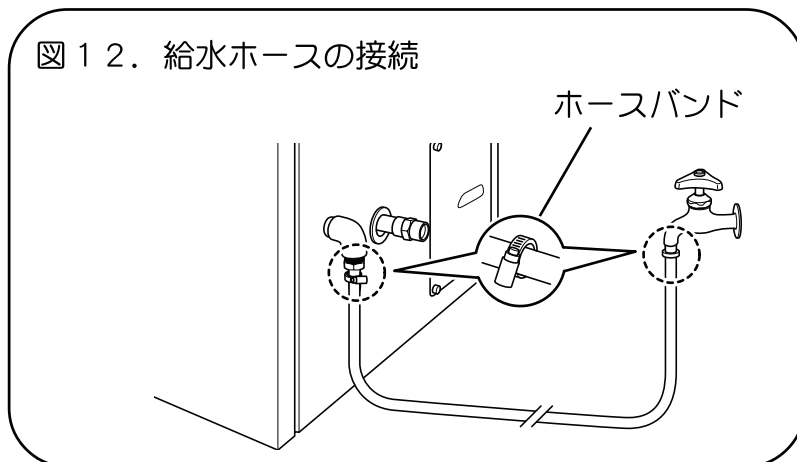
HIGH PRESSURE CLEANER 15/80H・15/100H

①水道の蛇口から本機までの給水ホース（市販品）をご用意ください。

15/80H、15/100H 3/8

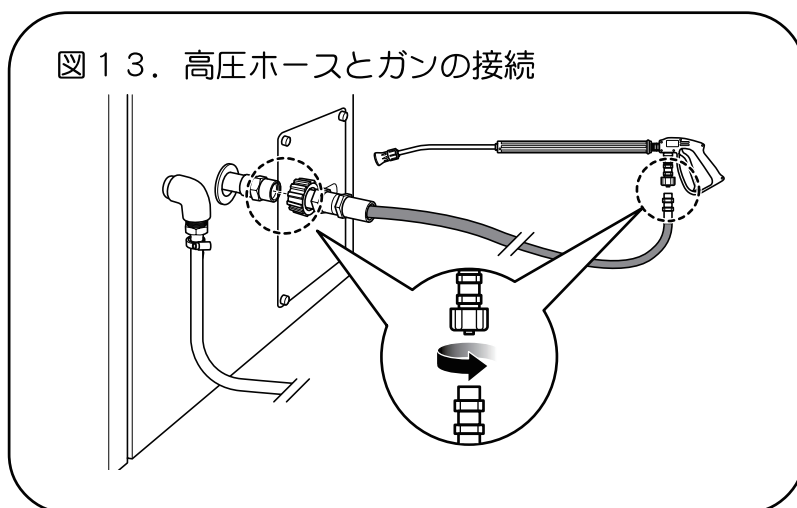
②本機の給水口に給水ホースを、もう一方を水道の蛇口に差し込み、ホースバンド（市販品）で確実に接続してください。（図12）

図12. 給水ホースの接続



③高圧ホースを本機の吐出口とガンに接続してください。（図13）

図13. 高圧ホースとガンの接続



2-1-6) 燃料の補給

■本機を購入した直後は燃料タンクに燃料が入っていません。下記に従って燃料を補給してください。

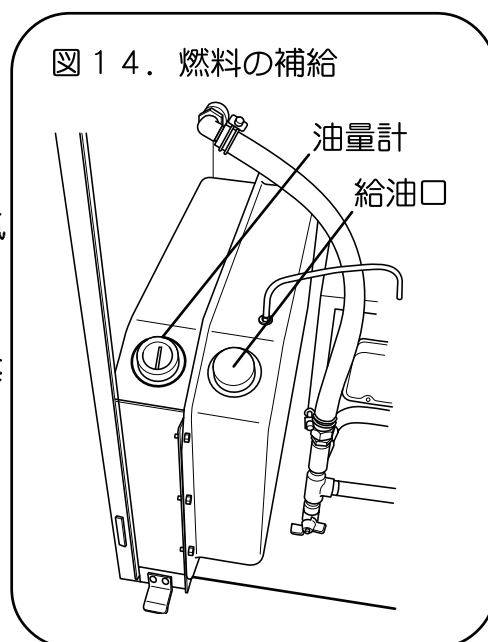
①使用する燃料は新しくきれいな白灯油を使用してください。

②燃料を補給する場合は必ず電源をOFFにし周囲に火気がないことを確認してください。

③補給する量は、本取扱説明書の『P. 9の1-2仕様』を参照し燃料タンクの燃料計以上には入れないでください。（図14）

●万一燃料が周囲にこぼれてしまった場合は、必ず拭きとってください。

図14. 燃料の補給



温水洗浄機 15/80H・15/100H

2-2) 運転

⚠ 注意



◆缶体を空焚きしないで下さい。機械が破損します。

◆ポンプの空回しをしないでください。ポンプ内が高温になり、その状態で、冷水を通されますと、急激な温度変化によりプランジヤが破損します。（ヒートショック現象）



◆十分な給水量を確保してください。空焚きの原因になります。

◆給油時は必ず電源を「OFF」にしてください。



◆温水使用時は、高圧ホース、洗浄ガンの金属部分には触れないで下さい。火傷の原因になります。

◆洗浄作業を行う場合には、本取扱説明書に記載されている注意事項をよく読み、安全にご使用ください。

2-2-1) 機械の運転準備

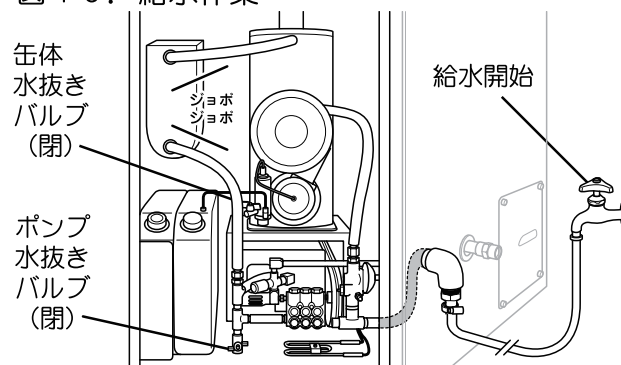
①図15のポンプ水抜きバルブ、缶体水抜きバルブ、図10の給湯用カラン（別販売品）を閉じ、水道蛇口より給水を行ってください。（図15）

②3～4分待ち、給水が止まるまで待ってください。

*シスターンタンクのフロートバルブが作動し、自動的に給水が停止します。

*本製品は、缶体に水が充満しないとバーナは作動しない構造です。

図15. 給水作業



2-2-2) 冷水運転

①洗浄ガンを持ちストップレバーを握ってからポンプスイッチを「ON」にしてください。冷水が噴射します。（図16）

ストップレバーを放すと噴射が停止します。

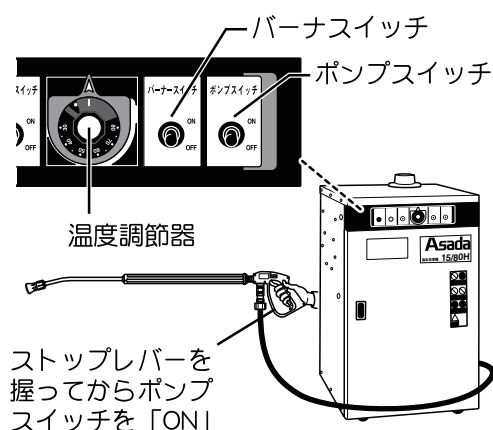
*ストップレバーは必要以上に操作しないで下さい。

*洗浄作業をしない状態でポンプのみ運転されるとポンプが高温になります。2分以内に次の洗浄作業を行って下さい。

②作業が終わりましたら、ポンプスイッチを「OFF」にしてください。

③洗浄ガンのストップレバーを握り、高圧ホース内の残圧を抜いてください。

図16. 操作方法



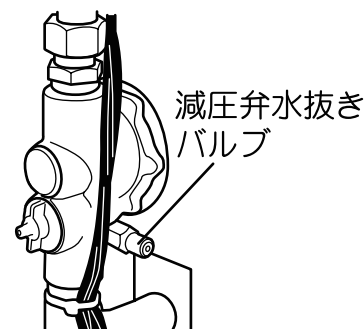
2-2-3) 温水運転

- ①温度調節器のダイヤルを希望の温度にセットし、バーナスイッチを「ON」にしてください。
- ②洗淨ガンを持ちストップレバーを握ってからポンプスイッチを「ON」にしてください。
温水が噴射します。ストップレバーを放すと噴射が停止します。
*ストップレバーは必要以上に操作しないで下さい。
*洗淨作業をしない状態でポンプのみ運転されますとポンプが高温になります。2分以内に次の洗淨作業を行って下さい
- ③作業が終わりましたら、温度調節器のダイヤルを「0」にして、バーナスイッチを「OFF」にしてください。
- ④ポンプスイッチを「OFF」にしてください。
- ⑤洗淨ガンのストップレバーを握り、高圧ホース内の残圧を抜いてください。

2-2-4) 機械の停止

- ①主電源を「OFF」にしてください。
- ②蛇口を閉じて、給水を停止してください。
- ③図15のポンプ水抜きバルブと缶体水抜きバルブ、
図17の減圧弁水抜きバルブを開き、充分排水してください。
- ④高圧ホース、洗淨ガン内の水を充分抜いてください。

図17. 減圧弁水抜きバルブ

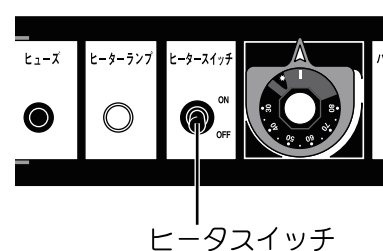


2-2-5) 凍結防止対策

冬季の凍結防止対策は非常に重要です。ポンプ、缶体、配管等を凍結させますと、機械が正常に動作しないばかりか、機械の破損に繋がります。下記の方法で凍結を防止し、運転時には充分注意してください。

- ①水道の蛇口を閉じて、給水ホースを本機から外してください。
- ②高圧ホース、洗淨ガンを本機より外し、暖かい室内に保管してください。
- ③缶体、ポンプ、減圧弁の水抜きバルブを開けて、充分排水してください。
*水が出なくなったらポンプの空運転を5～10秒程度行ってください。
- ④ヒータスイッチ（図18）を「ON」にして、保温ヒータを作動させてください。
主電源は「OFF」にしないで下さい。
- ⑤ポンプが凍結している場合は、シリンダにお湯をかけ、完全に溶解してから始動させてください。
手でベルトを送り、ポンプが回れば溶解したことになります。

図19. ヒータスイッチ



3. 保守・点検



◆保守・点検の際は、主電源を切って行ってください。
☆濡れた手で清掃を行うと感電する恐れがあります。



◆点検する際は、水道の蛇口を閉じてください。
◆修理技術者以外は絶対に分解しないで下さい。
◆改造は絶対に行わないで下さい。

3-1) ポンプ

本機に搭載されているプランジャポンプには、出荷時にポンプオイルを充填していますが、使用前にはオイルゲージでポンプオイルを確認してください。（図19）万ーポンプオイルの充填量が不足している場合は、適正量ポンプオイルを補充してください。

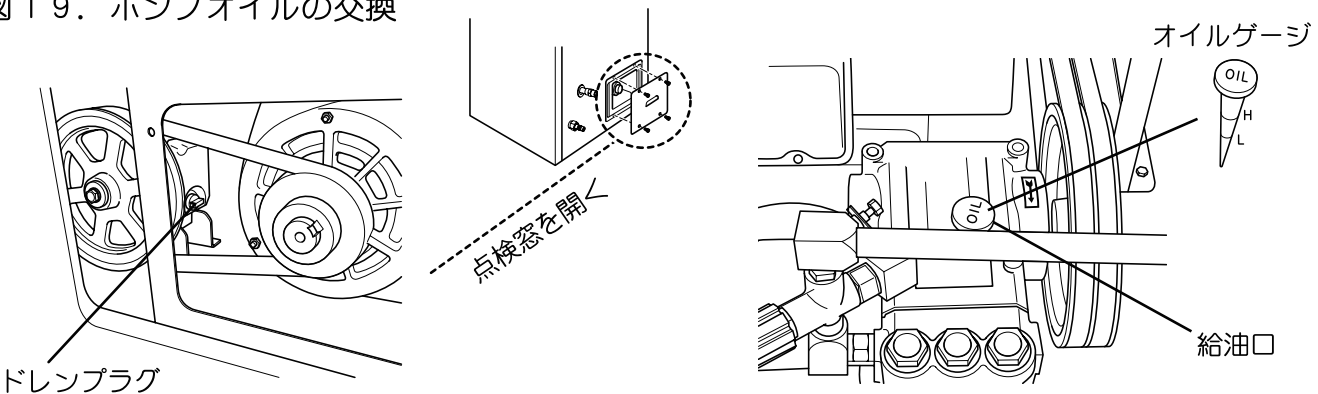
補充するポンプオイルの種類は下表を参照してください。

メーカー 品名	出光	キグナス	日石	コスモ	JOMO	三菱石油	昭和シェル	モービル
グレード VG100 (冬季)	ダフニー メカニック オイル100	ユニット オイル P-100	FBK オイル R0100	コスモ マイティ 100	共石 レータス 100	ダイヤ モンド ルブ R0100	シェル テラス オイル 100	DTE オイル ヘビー
グレード VG150 (夏季)	ダフニー メカニック オイル150	ユニット オイル P-150	FBK オイル R0150	コスモ マイティ 150	共石 レータス 150	ダイヤ モンド ルブ R0150	シェル テラス オイル 150	DTE エキストラ ヘビー

オイルの汚れ、白濁化が見られた場合は全量オイル交換を行ってください。ポンプのドレンプラグと給油口の位置は図20を参照してください。

オイルの交換は、第1回目納品後3ヶ月又は300時間、第2回目以降は6ヶ月又は600時間を目安に行ってください。オイル量は約0.4リットルです。

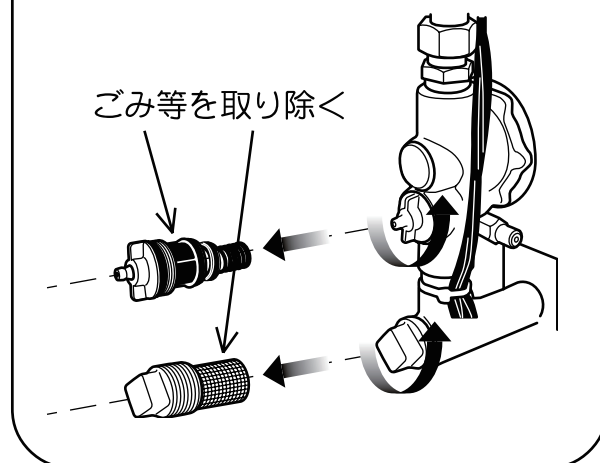
図19. ポンプオイルの交換



3-2) ストレーナ

本製品には減圧弁と、減圧弁の手前にストレーナが取り付けられています。ストレーナに配管内の錆びやごみ等が溜まると、給水量が不足しますので、図20に従って定期的に清掃してください。

図20. ストレーナの清掃



3-3) 定期点検

安全にご使用して頂くために、必ず定期点検を実施してください。

点検期間	点 検 項 目	点 検 要 領
毎日又は 随時	・ポンプオイルの点検 (油量および汚れはないか) ・燃料配管の油漏れはないか ・高圧ホースの破れ又は配管部の漏れはないか	・オイルの補充・交換 ・油漏れ発生時、お買い上げの販売店へ相談してください。 ・高圧ホースの交換、配管部の増し締め
3ヶ月毎又は 300時間毎	・バーナー点火栓 ・燃料フィルタ ・燃料タンク ・各電気配線結線部の締め付けおよび各ねじ部ゆるみ点検	・清掃および調整 (お買い上げの販売店へ相談してください) ・フィルタの清掃 ・内部清掃および水抜き ・締め付けおよび増し締め
6ヶ月毎又は 500時間毎	・ポンプヘッドのパッキンからの漏れはないか ・炎監視センサー受光面の清掃	・漏れがある場合はパッキンの交換 ・受光面の清掃 (お買い上げの販売店へ相談してください)
1年毎又は 1000時間毎	・ボイラー燃焼室 ・炎監視センサー	・清掃 (カーボンの除去) ・交換 (お買い上げの販売店へ相談してください)

4. 修理・サービスを依頼される前に

注意



◆故障の処置をする場合は、電源を切り給水を止め、安全を充分確認した上で行ってください。

本機の調子が悪い場合は、修理を依頼される前に下表に従って点検を行ってください。
点検された上で、なお異常がある場合や不安定な箇所がありましたら、そのままの状態にして、お買い上げの販売店へご相談ください。

状 況	原 因	処 置
・シスターンタンクに 水が充満しない	①水源圧力、水量不足 ②フロートバルブ不良 ③減圧逆止弁の不良 ④ストレーナの目づまり ⑤減圧弁内のストレーナの目づまり	①水量確保 ②交換 ③交換 ④清掃 ⑤清掃
・ポンプ、バーナスイッチを「ON」にしても バーナが始動しない	・モータ ①スイッチ不良 ②電磁開閉器のサーマルリレーが作動している ③ヒューズ切れ ④コードの断線、又は結束不良 ・バーナ ①スイッチ不良 ②ヒューズ切れ ③コードの断線、又は結束不良 ④圧力スイッチ不良 ⑤加熱防止装置のリセットはずれ ⑥バーナ制御機の不良 ⑦温度調節器不良 ⑧水量不足	・モータ ① — ② — ③ — ④ — お買い上げの販売店へ 相談してください ・バーナ ① — ② — ③ — ④ — ⑤ — ⑥ — ⑦ — ⑧水量確保 お買い上げの販売店へ 相談してください

HIGH PRESSURE CLEANER 15/80H・15/100H

状 況	原 因	処 置
・洗淨ノズルより水が 噴射しない	①ポンプ不良 ②ポンプのバルブにゴミ付着、 又はバルブ不良 ③ポンプのパッキンより水漏れ ④アンローダバルブ不良 ⑤高圧ホース異常 ⑥配管等のゆるみ ⑦温水温度が高すぎる (80℃以上) ⑧洗淨ノズルのつまり、消耗 ⑨水量不足 ⑩ストレーナの目づまり	① — ② — ③ — ④ — ⑤ — ⑥ — ⑦ — お買い上げの販売店へ 相談してください ⑧ノズル清掃、交換 ⑨水量確保 ⑩清掃
・バーナの点火不良、 又は温度が上がらない	①燃料不足 ②燃料ストレーナのつまり ③炎検出器のくもり ④電磁ポンプの不良 ⑤バーナノズルの目づまり ⑥ダンパ開度の確認 ⑦温度調節器不良	①燃料確保 ②清掃 ③やわらかい布で清掃 ④ — ⑤ — ⑥ — ⑦ — お買い上げの販売店へ 相談してください
・ポンプ、又は洗淨ガン のチャタリング	①水量不足、又は目づまり ②ポンプの水漏れ ③アンローダバルブ不良 ④吐出部配管の水漏れ ⑤洗淨ガンの水漏れ	①水量確保、又は清掃 ② — ③ — ④ — ⑤ — お買い上げの販売店へ 相談してください

HIGH PRESSURE CLEANER 15/80H • 15/100H

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号：

購入年月日： 年 月 日

お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支 店 / 東京・名古屋・大阪
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社	(バンコク)	アサダ・インド社	(ムンバイ)
台湾浅田股份有限公司	(台北)	上海浅田進出口有限公司	(上海)
アサダ・ベトナム社	(ホーチミン)	アサダ USA	(オレゴン州ユージン)

工 場

犬山工場	(愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社	(松 阪 市)
アサダ・マシナリー社	(バンコク)

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

www.asada.co.jp

Ver.06 コードNo. HD02007 A